

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	COCOサポートセンターれもん		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで実施し、その活動を通じて将来の社会参加に向けた様々な経験ができる。 活動後の評価(外部評価も含む)も行っている。	季節ごとに机上・運動・音楽・共同制作等様々な活動プログラムを考案して実施している。また小学高学年を中心に高校生までが在籍しているため将来の社会参加に向けた活動を展開している。主にSSTや公共機関を使った移動、お買い物や物作り体験等。実施後には毎月1回活動振り返り研修を全職員で行い、良かった点や改善点等を話し合い5段階評価を最終的にしている。評価の低いものは継続せず、評価の高かったものは更に内容を良いものにして実施している。 また専門指導の講師(主にOT)に毎月1回活動を見てもらい、良い点・改善点(活動中の職員の動きや声掛け、活動の内容等)を職員に対し具体的な指導やアドバイスをいただき、それを全職員にフィードバックしている。	療育参観や療育体験は行っているが、もっと気軽に利用児や保護者からの意見や評価を取り入れられるような仕組み作りも考えていきたい。 就職を踏まえて職場体験をする等、実践的な取り組みにも注力したい。
2	経験が豊富で有識な職員が多く在籍しており手厚く支援することができる。	元小学校教師や保育園の管理者、小中高教諭免許を持つ職員が在籍しており、それぞれの得意分野で力が発揮できるように活動の担当を行っている。また学習支援も充実しており、学校で習う理科の実験を行ったり道徳を行う等、学校教育にも沿った形での活動も実施している。	現状で満足することなく外部研修参加の機会を充実させて更に知識を深めていきたい。 交流のある他事業所での支援や療育体験をする機会等を設け、経験値を高めていきたい。
3	地域交流を含む行事の開催と実施。	行事は毎月行い、保護者・家族が参加できる行事が多くある。 地域交流行事も毎年実施しており、年々地域の方々の参加も増えている。 最近では事業所への理解も深まり、贈り物をいただいたり場所の提供をしていただくなど協力していただくことも増えてきている。	行事だけでなく保護者や地域の方々にも参加や協力していただき避難訓練を実施したいと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同年代の子供たちがいる児童館や学童、他事業所等の機関との交流がない。	近くの児童館への行き来はあるが、交流に関するやり取りは無いため。 公園での活動では地域の子供たちと一緒に遊ぶことはあるが、計画的に活動することはなく相互の関係を深めてはいないため。 利用児や保護者・ご家族の交流への想いを確認していないため。	近隣の児童館とどのような交流ができるか具体的に交渉を進める。その他にも交流が可能な児童館や学童、他事業所や機関を探して行きたい。 実施に向けて利用児本人や保護者・ご家族の意向の確認を行う。
2	保護者同士の交流する場が少ない。	休日の営業が無いため平日での交流会を開催するが保護者・ご家族の仕事等の関係から参加者が限られたり参加が無かったり、オンラインでの参加となっていた。	どのような交流方法が良いか検討する。 土曜開所日に合わせた実施を検討する。 交流会や交流行事の開催日程や内容に関する意見を聞き取る。
3	部屋数が限られているため個別対応(個室での対応)が難しい時がある。	2部屋+リビングとなるためこのスペースが取りづらい間取りとなる。	パーティション等でプライバシーに配慮し、できる限り個別の空間をしっかりと取れるように工夫したい。